

質問順位は、議会の申し合わせにより決定しています。
なお、紙面は要約してありますので、詳しくは8月中旬に配置予定の会議録をご覧ください。

一般質問

登壇者と通告項目

木村たか子（公明党）

転倒防止トレーニング、緊急通報システム、障害福祉、幼保一元化、生活排水対策、マイさくら運動

大木 隆弘（民主連合）

子供の安全、高齢者福祉、ごみ問題、野田みずきの街企業向け施設用地売却、落札率

鈴木 有（市政クラブ）

教育行政

金子 博美（日本共産党野田市議団）

市長の政治姿勢、子供の医療費助成拡大、難病見舞金、児童福祉施設の委託、ごみ収集の委託、安全なまちづくり

船橋 繁雄（民政クラブ）

防犯対策、雨水対策

岡田早和子（市民ネットワーク）

新設小学校計画、投票所のバリアフリー

長南 博邦（新社会党）

合併問題、入札制度、自立支援法、保育所・学童保育所、清掃行政、利根運河の自然環境保全

西村 福也（公明党）

ヒートアイランド現象対策、保育所・学童保育所の待機児童、通学路の安全対策

松本 睦男（日本共産党野田市議団）

教育基本法改定に対する市長・教育長の政治姿勢、市の雇用対策、消防活動困難地域の火災対策、前立腺がん検診

中井 洋子（市民ネットワーク）

イトーヨーカ堂跡地、江川地区の自然環境保護、川間の街路樹、産廃施設、川間・プラタナス通り騒音・振動問題

千久田祐子（日本共産党野田市議団）

国民健康保険、介護保険、環境行政、予防保健

木村たか子
議員

緊急通報システム 利用状況と対象者拡大を

■質問 一人暮らしの高齢者等が急病などで緊急に救助を要した場合に、高齢者宅に設置された緊急通報用

電話機が付随のペンダントを押すだけで、消防本部に通報され速やかに救助される緊急通報システムの利用状況を伺いたい。

また、二人暮らしの高齢世帯及び高齢者と同居をしている二世帯への対象拡大についてお聞きしたい。

□答弁 緊急通報システムは、今年の六月一日現在で三十三台設置している。

また、対象者の拡大については、現在も一人暮らし以外の方でも、同居者が夜勤等で長時間不在になる世帯などには、事業運営要綱第三条のただし書きの「市長が特に必要と認めた者」という規



緊急通報システム

定を適用して設置している。さらに、今年三月に策定した第三期シルバープランで、対象者の拡大への見直し・検討を行うことから、設置希望者に対する同居家族の総合的な状況に基づき、財政状況を考慮しながら、検討していきたい。

学校安全マップ作成 更新の時期は

大木 隆弘
議員

■質問 野田市でも、昨年、小学生への傷害事件などが数多く発生した。学校安全マップは、危険箇所が大変細かく記入されているが、日没の時間や季節の死角などを考慮するとともに、大人の目線だけでなく、子供の目線で作成されているのか伺いたい。また、いつごろ更新されるのかお聞きしたい。

□答弁 学校安全マップは、これまで交通安全を主眼として作成してきたが、昨年の小学生殺傷事件を受

け、不審者に対する危険箇所重点を置いた見直しを図り、教職員の目、保護者の目、子供の目、さらには、地域の方々の視点も加えた新たなマップとして、市内全小中学校で作成した。更新の時期は、日没時間などへの考慮、季節の死角、目線等、さまざまな角度からチェックを行い、各校の実情に応じ検討してきたので、新たな工事等危険箇所の発生など、見直し要件が発生した場合に速やかな更新が必要と考えている。

一般質問



古布内地区の水路（山坪団地周辺）

■質問 平成十六年の秋水により、柏寺・古布内地区は道路冠水、床下浸水など、内水による水害が多発したことで、地元住民から多くの要望が出され、市長が自ら現地視察をし、話し合いを行ったと聞いている。そこで、古布内地区の道路冠水の解消を含めた道路側溝の改修及び水路改修計画の

がばらばらに行われ、系統立った排水施設がないために雷雨や台風時の大雨等で

を行い、雨水整備計画を策定するとともに、延長三十六メートルある水路のネッ

ク部分が横断管の断面不足により土砂で埋まっていたため、改修工事を実施した。今年度も、その下流部分である我孫子関宿線の西側二二〇メートルの整備を予定するとともに、下流部分から改修をし、上流部分の排水路を検討するなど、早期完成に向けて努力していきたい。

古布内地区の道路冠水 今後の改修予定は

雄議員
繁橋

時期をお聞きしたい。

■答弁 古布内地区については、山坪団地周辺の開発

道路冠水が生じている。市では、平成十七年度に山坪団地周辺の測量と実施設計

■質問 私の掲げるスローガンに日本古来の武道の推進などがある。武道は、礼に始まり、礼に終わる。ごく自然な気持ちで理屈抜きで感謝の気持ち、人を敬う気持ち、心を養うことができると思う。そこで、日本古来の武道を必修科目にすべきと考えるがどうか。

また、各中学校への武道場建設の見解を伺いたい。

■答弁 武道指導の充実には、規範意識の低下が叫ばれる昨今、大切なことであると認識している。武道指

■質問 七光台地区のパレットコートから北部小学校に通学する児童の様子が、折に触れ見に行っているが、

北部小学校近くの踏切は、道路幅が狭く大変危険な状況にある。学校やPTAからも改善要望が出されていると思うが、市はこの危険な状況をどのように認識しているのかお聞きしたい。



北部小学校付近の踏切

平成十七年度には車道と歩道を分離する路面標示工事を実施し、歩行者の安全確保、通過車両の円滑化を図った。また、踏切の幅員が六・二メートルに対し、小学校側が八・三メートル、区画整理側が六・三メートルと、区画整理地側の道路

幅と踏切付近の幅員がほぼ同じであることから、国の通達では踏切拡幅の対象にはならない。仮に、区画整理地側の道路幅を小学校側と同じ幅に広げれば対象になると思うが、道路用地が未登記で個人の土地扱いとなっているので、用地買収が難しい状況である。

日本古来の武道の推進と 武道場の建設

有議員
鈴木

北部小学校付近 踏切幅の拡幅を

博美
議員
金子

■質問 南部小学校は、運動場が狭く、子供たちが伸び伸びと運動もできない。また、空き教室がなく、更衣室もとれず、プライバシーもない大変劣悪な状況である。そこで、運動場の面積は国の基準を満たしているのかお聞きしたい。また、新設小学校の建設予定時期について伺いたい。

長南 博邦
議員

学童保育所の過密化 市の改善策は

■質問 学童保育所は、定数の倍以上であったり、四十人学級の教室に五十人以上が一つの教室に詰め込ま

□答弁 南部小学校運動場の面積は、五八二一平方メートルである。国の基準

南部小の過密化 新設小学校建設は

岡田 和子
早議員

では、児童数七二人以上で七二〇〇平方メートルとなっており、基準は満たさ

れていないが、各学年で調整し、お互いに譲り合い、協力する気持ちで利用して

れている過密状態である。学童保育所はただの居場所ではなく、子供たちが夕方過ごす家庭に近い生活空間であることから、非常に問題があると思う。そこで、学童保育所の過密状態の改善策をどのように図るのか伺いたい。

考えている。今後、全国学童保育連絡協議会や県等で定員基準の策定の動きがあることから、その動向を踏まえながら、既存資源を有効に活用した施設の充実、子ども館併設施設における入所児童の利便性の確保などを総合的に検討していきたい。

□答弁 学童保育所には、定員を設定するための基準がないため、市川市、柏市、船橋市、松戸市では、定員の一割から三割を超過した時点で入所を制限しており、残りは待機していたらいていと伺っている。一方、野田市では、申込者全員を入所させていることから、過密化の一因につながっていると



南部学童保育所

地球温暖化対策に

緑のカーテンの推進を

也 福議員
西村

■質問 板橋区、足立区、杉並区などの小学校では、二年ほど前からつる性植物を利用した緑のカーテン事業に取り組んでいる。緑のカーテンは、日差しを和らげるとともに、室温の上昇を抑え、真夏のエアコン使用を二十%から三十%抑制する効果がある。そこで、事業推進への当局の見解を伺いたい。

□答弁 緑のカーテン事業は、地球環境や人に優しい環境づくり、学校現場での理科や総合学習など、環境

も児童数の増加が見込まれる。具体的には、現在、九一七人の児童が今後十年間で約一九〇人増加すると見込んでおり、平成二十八年には約一一〇〇人程度になると考え、これを目安に新設小学校の建設を検討していきたいと考えているので、現時点では具体的な検討はしていない。



南部小学校の運動場

教育の取り組みであると認識している。また、学校では、室温を下げる効果がある反面、維持管理費用として給水設備に多額の費用がかかるとともに、害虫への薬が使用できず、多量に発生した場合には窓を閉めるといった事例も伺っている。地球温暖化対策、省エネ対策として有効な手法として注目しているが、クリアすべき課題もあり、積極的に進める状況に至らないので、今後、この辺を解決しながら検討していきたい。

一般質問



集団資源回収（なみき地先）

■質問 資源回収については、合併前の関宿町が実施していた資源ごみを毎週ごみステーションに出せる関宿方式に変更してほしいという要望が多く寄せられている。資源回収は、住民が無理せず長く続けられることが重要だと考えるが、関宿方式導入への見解を伺いたい。

度と考えている。旧関宿地域では、平成十四年度末の資源回収量が一人一日当た

グラムと四十%強伸びており、現在の収集方法が有効な手段であると認識してい

る。また、平成十七年四月から仕事等で排出できない方には、毎月第四日曜日に回収場所を設けるとともに、資源物を自主回収していただけるごみ減量協力店や直接搬入できる業者を紹介したり、排出困難な高齢世帯や障害者世帯などには、平成十六年七月より戸別収集も実施している。

■質問 愛国通知表は、二〇〇二年の学習指導要領における小学六年生の社会科の目標に国を愛する心情を育てると明記されたことで生まれ、今回の教育基本法改正案にも盛り込まれた。これにより、憲法違反である内心の自由に立ち入った強制が教育現場で横行することを危惧しているが、市の見解と実態を伺いたい。

■質問 愛国通知表は、二〇〇二年の学習指導要領における小学六年生の社会科の目標に国を愛する心情を育てると明記されたことで生まれ、今回の教育基本法改正案にも盛り込まれた。これにより、憲法違反である内心の自由に立ち入った強制が教育現場で横行することを危惧しているが、市の見解と実態を伺いたい。

■質問 川間地区におけるまちのシンボルとも言えるケヤキやプラタナスが、切られてしまうという噂を

■質問 川間地区におけるまちのシンボルとも言えるケヤキやプラタナスが、切られてしまうという噂を



街路樹のケヤキ（川間南駅前線）

聞いた人から抗議を受けたが、いつまでに植えかえをするのかお聞きしたい。また、地域に合った植木を選定するため、住民の意見を反映させ、公募による市民や専門家が構成する検討委員会等を設置し、検討することへの見解を伺いたい。

対応したいと考えている。また、植えかえする樹木については、専門的知識のある方々も参加されているみどりのふるさとづくり実行委員会が、その場にふさわしい樹木を選定しているため、市民参加による植樹を行っている」と認識している。

教育基本法改正による

教育現場への影響は

男員 睦議
松本

■質問 愛国通知表は、二〇〇二年の学習指導要領における小学六年生の社会科の目標に国を愛する心情を育てると明記されたことで生まれ、今回の教育基本法改正案にも盛り込まれた。これにより、憲法違反である内心の自由に立ち入った強制が教育現場で横行することを危惧しているが、市の見解と実態を伺いたい。

住民の意見を反映した 街路樹の植えかえを

中井 洋子
議員

■質問 川間地区におけるまちのシンボルとも言えるケヤキやプラタナスが、切られてしまうという噂を

■質問 川間地区におけるまちのシンボルとも言えるケヤキやプラタナスが、切られてしまうという噂を



街路樹のケヤキ（川間南駅前線）

聞いた人から抗議を受けたが、いつまでに植えかえをするのかお聞きしたい。また、地域に合った植木を選定するため、住民の意見を反映させ、公募による市民や専門家が構成する検討委員会等を設置し、検討することへの見解を伺いたい。

対応したいと考えている。また、植えかえする樹木については、専門的知識のある方々も参加されているみどりのふるさとづくり実行委員会が、その場にふさわしい樹木を選定しているため、市民参加による植樹を行っている」と認識している。

資源ごみの回収

関宿町方式の検討を

千久田祐子
議員

■質問 資源回収については、合併前の関宿町が実施していた資源ごみを毎週ごみステーションに出せる関宿方式に変更してほしいという要望が多く寄せられている。資源回収は、住民が無理せず長く続けられることが重要だと考えるが、関宿方式導入への見解を伺いたい。

度と考えている。旧関宿地域では、平成十四年度末の資源回収量が一人一日当た

る。また、平成十七年四月から仕事等で排出できない方には、毎月第四日曜日に回収場所を設けるとともに、資源物を自主回収していただけるごみ減量協力店や直接搬入できる業者を紹介したり、排出困難な高齢世帯や障害者世帯などには、平成十六年七月より戸別収集も実施している。